



# 祝！新成人 稲沢市 1,349人

男性 708人 女性 641人 (平成4年4月2日～平成5年4月1日生まれ)



## ■県の新年度予算編成・・・民主党重点事業等調査研究会から

1月10、11、15、16日に亘り、愛知県の新年度予算の重点事業等について会派説明がありました。初日の知事政策局・総務部、県民生活部・防災局から始まり、建設部、地域振興部、環境部、健康福祉部・病院事業庁、農林水産部、警察本部、教育委員会、産業労働部、企業庁まで各部局質疑も合わせて一時間ほど説明を受けました。

### 【平成25年度財政状況の試算ーまた収支不足 1,600 億円】

(単位：億円)

現状試算では歳出は対前年度▲546 億円の 2 兆 2 千億円。介護給付費負担金などの扶助費は 4.7%増、104 億円の増額などに対し、国の新年度予算が示されていないこともあり投資的経費の減、国補正基金事業費の減などにより歳出の伸びが抑えられた形。ただし、その他の中に個人県民税減税の実施に向け財政調整基金積立金に 60 億円が計上されています。

区分	25年度試算	24年度	増減	備考
人件費	7,000	6,985	15	給与抑制分は見込まず退職手当は新基準
扶助費	2,300	2,196	104	介護給付費負担金の増等
公債費	3,700	3,559	141	減債基金積立金の増
投資的経費	2,000	2,225	▲225	予算編成に基づいた整理
税交付金等	2,500	2,735	▲235	地方消費税清算金・交付金の減
その他	4,500	4,846	▲346	国補正基金事業の減等
<b>歳出計</b>	<b>22,000</b>	<b>22,546</b>	<b>▲546</b>	<b>伸率97.6%</b>
県税	9,100	8,847	253	法人二税1,900→2,200億円
交付税等	3,200	3,500	▲300	
県債	800	846	▲46	
その他	7,300	9,353	▲2,053	減債基金取崩し1,167億円皆減等
<b>歳入計</b>	<b>20,400</b>	<b>22,546</b>	<b>▲2,146</b>	<b>伸率90.53%</b>
<b>収支不足</b>	<b>▲1,600</b>			

歳入については、県税が3年ぶりに9千億円台を回復、うち法人二税は300億円増の2,200億円を計上。しかし、減債基金などの基金取崩しや基金繰入運用の皆減などにより歳入計は対前年度▲2,146億円の2兆4百億円。

このため収支不足は昨年の1,800億円よりは縮小したものの1,600億円。対策として①今年度中の財源確保・経費節減による基金活用の取止め、②25年度の最大限の財源確保、③臨時的・緊急避難的な措置(人件費の抑制等)等を取らざるを得ない、厳しい状況が続いています。

### 【重点事業等】

#### ●地域づくりビジョン策定費・・・0.12億円 知事政策局

中長期の愛知の姿を展望し、中京都構想の目指す世界と闘える愛知・名古屋の実現をはじめ、さらなる愛知の発展に向けた戦略や、その中で県内各地域の方向性(尾張、西三河、東三河の3ブロック)を示す、新しい地域づくりのビジョンを策定。目標年度は、リニア中央新幹線東京～名古屋開通(2027年予定)後の2030年頃を展望し、2020年を目標とする。

#### 個人県民税減税

大村知事は平成26年度の個人県民税の実施を表明し、新年度からの基金積み立てを目指していますが、公約の10%減税には350億円が必要となり、今回の60億円の仮置き(行革の年60億円の目標額分)は効果、制度が明らかにされないままの見切り発車であり予算としては極めて異例な計上と考えます。



#### 新たな社会変化と課題

- ◆防災・エネルギー問題への対応
- ◆アジア諸国の経済発展、産業空洞化への対応
- ◆本格的な人口減少への対応
- ◆リニアインパクトを活用した地域づくり
- ◆大都市制度や道州制の議論への対応など

# STEP 21 県政 REPORT

2013H25



●**あいちトリエンナーレ2013開催費**・・・5.69億円 県民生活部

本年8月10日(土)から10月27日(日)まで、愛知芸術文化センター、名古屋市美術館、名古屋市内のまちなか、岡崎市内のまちなかで「愛知トリエンナーレ2013」を開催。2010年に続いて2回目となる3年に一度の現代芸術の祭典。テーマは揺れる大地—われわれはどこに立っているのか：場所、記憶、そして復活です。

●**第3次あいち地震対策アクションプラン策定調査費**・・・0.07億円 防災局

南海トラフの巨大地震について国が平成25年度中にまとめる地震対策大綱、地震防災戦略による中央防災会議の減災目標や対策の方向性と整合を図りつつ、本県の地震防災対策の抜本的見直しを反映した「第3次あいち地震対策アクションプラン」(平成26年度～)を策定。

●**建築物耐震化推進事業**・・・6.46億円 建設部

民間住宅耐震改修費補助では国県市合わせての90万円の補助金を継続するほか、改修後の耐震性の総合評価判定値(Is値)が0.7の場合(通常の補助は1.0以上に耐震性向上が条件)でも60万円の補助をする段階的補助制度を新設(制度がある市町村が対象…稲沢市は段階的補助は未実施)。

●**リニアインパクト検討調査費**・・・0.06億円 地域振興部

平成39(2027)年、品川—名古屋間開業予定のリニア中央新幹線の着工は平成26年が予定され、本県としてリニア開業を見据え、そのインパクトを最大限に活用した地域づくりを戦略的に進めるため、24年度の調査結果(リニア開業が本県に及ぼす影響の分析・整理、今後の地域づくりにおける検討課題の整理)を踏まえ、対応方針について調査・検討を行い、戦略の基本方針をまとめる。

◆**リニアインパクト今年度実施調査**(一部参考)

路線等の建設に伴う経済効果 (建設にかかる13年間累計)	
事業費	7,800億円
生産誘発効果	1兆4,495億円
雇用創出効果	83,484人
税収効果	1,278億円

●**持続発展教育(ESD)に関するユネスコ世界会議開催準備費**・・・0.73億円 環境部

平成26年11月10日～12日に開催されるESDに関するユネスコ世界会議(主催：ユネスコ(国際連合教育科学文化機関)、日本政府)の支援の準備及び関連事業等の実施・準備を進めるため支援実行委員会が実施する事業に対し負担金を支出、また県等が行う関連事業に経費を支出する。

●**第23回全国産業教育フェア愛知大会開催費負担金**・・・0.12億円 教育委員会

本県で初めて、全国の専門高校等の学習成果を発表し、産業教育の活性化・振興を目的として本年11月9日、10日に「全国産業教育フェア愛知大会」を開催。記念講演、研究発表、ロボット等の各種競技会を実施、参加者は10万人を予定。主催は文科省、愛知県、名古屋市、刈谷市等。

●**東三河地域観光推進事業費**

・・・0.04億円 産業労働部

本年11月9日(土)、10日(日)に豊川稲荷周辺等で開催される「**第8回B-1グランプリ全国大会**」の開催費負担金等。

●**技能五輪・アビリンピックあいち大会2014**

平成26年11月28日(金)～12月1日(月)に愛知県体育館等で開催の技能五輪全国大会、同11月21日(金)～23日(日)に名古屋市国際展示場等で開催の全国アビリンピックの実施計画を策定。

- 26日稲沢市民課休日窓口(毎月第4土曜日午前中)開始
- 2月11日建国記念日 社会福祉大会
- 16日大鏡餅つき
- 20日愛知県議会2月
- 22日尾張大國霊神社儼追神事(国府宮はだか祭り)

◆**中部臨空都市の最近の企業立地**



STEP 21

新年明けましておめでとうございます。

の下宿さがしに東京へ、何と大雪です。横浜線の車内に1時間缶詰め、成人式の晴れ着の方も大変でした。稲沢市の成人式はみんなが集まりやすい連休の中日で良かったです。未来へつづきまちづくりへ 本年も宜しくお祈りします。 愛知県議会議員 鈴木じゅん

三連休の最後(成人の日)に子ども